

新美南吉生誕100年!!

童話「ごんぎつね」や「手ぶくろを買いに」の代表作で知られる、愛知県半田市出身の童話作家、新美南吉。彼は故郷・半田や知多半島の自然と人々を描き続け、数々の名作を残しましたが、病のため29歳という若さで亡くなってしまいました。



2013年、南吉は生誕100年を迎えます。これを機会に、ふるさと半田を中心として、生誕100年を祝う各種事業が展開されます。

■第5回 童話の村秋まつり

平成24年9月20日(木)～10月3日(水)
新美南吉記念館を中心に半田岩滑地区にて、今年も「童話の村 秋まつり」を開催!

南吉ゆかりの地巡りをしよう!!

新美南吉記念館を中心に南吉の生家や墓など、南吉ゆかりの地を巡る事ができます。半田市観光協会 知多半田駅前観光案内所にてレンタサイクル「ごんぎつね号」の貸し出しがあり、南吉ゆかりの地巡りにはレンタサイクルが便利です。

レンタサイクル

貸出時間 9:00～18:00
出発地・返却地 知多半田駅前観光案内所(有料)

1.新美南吉記念館

新美南吉の直筆原稿や書籍、童話集などを収蔵する記念文学館。童話「ごんぎつね」の舞台となった地に建てられています。
開館時間 9:30～17:30
観覧料 210円(中学生以下無料) 団体20名以上は1人160円
休館日 月曜、第2火曜(祝日・振替休日は開館、その翌日休館)
お問合せ 0569-26-4888

2.南吉の生家

新美南吉の生まれた家。父の畳屋と継母が営んでいた下駄屋など、当時の間取りを復元しています。
入館料 無料
休館日 年末年始を除き、無休
お問合せ 0569-26-4888(新美南吉記念館)

3.南吉の墓・六地蔵(北谷墓地)

南吉の墓は、昭和35年に北谷墓地に建てられました。童話「ごんぎつね」の「ごん」が隠れていた岩滑の六地蔵もここに移されています。

4.権現山と矢勝川堤

南吉がよく散歩をしたと言われる矢勝川堤は、秋になると200万本の彼岸花が咲き誇り、毎年多くの方が訪れます。堤から望める山は権現山といひ、童話「ごんぎつね」の「ごん」の名前の由来になった山と言われています。

5.岩滑八幡社

南吉は毎日この境内を通過して、はなれの家と生家を往復していました。童話「狐」などに登場します。

新美南吉 生誕100年の主な行事(予定)

★生誕100年開幕式典

平成25年1月 新美南吉記念館

★没後70年記念法要&懇話会

平成25年3月22日 光蓮寺ほか

★南吉生誕祭(南吉にちなんだ合唱、朗読会、演奏会、展示会など)

平成25年7月下旬～8月上旬 雁宿ホール全館

★誕生日式典

平成25年7月30日 新美南吉記念館

★生誕100年記念シンポジウム

平成25年8月上旬 雁宿ホール※南吉生誕祭の中で実施

★生誕100年 秋の行事(岩滑地区を巡るイベント、彼岸花など)

平成25年9、10月頃 岩滑地区(新美南吉記念館、矢勝川周辺)

半田の本格的な春は山車祭りとともに訪れます。 はんだ山車まつり

3月下旬から5月3日・4日にかけて、市内10地区で山車祭りが行われ、彫刻や金・銀刺繍幕におおわれた豪華な山車が勇壮に曳きまわされ、からくり人形、獅子舞、三番叟など見所は多くあります。そして、市内31台の山車が5年に一度勢揃いするのが、10月に行われる「はんだ山車まつり」。2012年はその圧巻の光景がご覧いただけます。



第7回 はんだ山車まつり
【伝-DEN】
平成24年10月6日(土)7日(日)
知多バス乗車、
名鉄「知多半田駅」まで40分
会場 半田市役所～JR半田駅～
名鉄知多半田駅周辺
お問合せ 0569-32-3264
(半田市観光協会)
<http://www.handa-kankou.com/>

勇壮にして華麗な総勢31台による山車まつりのほか、醸造業による発展を今も象徴する半田運河沿いの黒板に囲まれた様々な蔵の景観、半田市を代表する「ごんぎつね」などの童話作家、新美南吉の縁の地など、文化・歴史的な見所がたくさんあります。

歴史と文化のまち 半田市



お酢の歴史をたどる旅へ 博物館「酢の里」

「酢の里」は、粕酢誕生の地である半田に開かれた、日本唯一のお酢の総合博物館。昔を偲ばせるたたずまいの中で、倉人たちがつくりあげてきたお酢づくりの精神と技術、健康的な暮らしに役立つお酢に関する情報を3つのゾーンから紹介しています。

名鉄河和線「知多半田」駅下車、徒歩13分
開館時間 平日 9:00～16:00 土・日・祝 9:00～15:30
※ 毎時00分、30分受付・午前の部11:00最終受付(12:00～13:00休憩時間)
入館料 無料(※見学には予約が必要です。)
休館日 毎月第3日曜、年末年始、盆休み
お問合せ 0569-24-5111
<http://www.mizkan.co.jp/company/csr/sunosato/>



黒板囲いの蔵の風景に圧巻 運河沿いの蔵のある風景

江戸時代、海運で栄えた半田から江戸へと、特産の酒や酢が運ばれ、その醸造蔵が運河沿いには建ち並んでいます。今も運河周辺には酢の香りが漂い、環境省の「かおり風景100選」に選ばれています。元禄時代に造られた運河と、醸造蔵の景観は江戸の面影を今に伝え、江戸時代にタイムスリップする、懐かしい町並みにうっとりしてしまいます。

名鉄河和線「知多半田」駅下車、徒歩約13分
所在地 半田市小中町周辺

かつての國盛蔵をそっくり生かした文化館

國盛 酒の文化館

1985年、中埜酒造(株)が新工場を完成、稼働したのを機に創設したお酒の博物館。重厚な黒塗りの壁、格子の填った白い漆喰窓をもつ建物は、1972年まで約200年にわたって実際に酒造りが行われた酒蔵をそのまま生かしたもので、酒の文化館は國盛を育んできた酒蔵そのものです。ここで使われた伝統の道具や資料を保存しています。

名鉄河和線「知多半田」駅下車、徒歩15分
開館時間 10:00～16:00(12:00～13:00 休憩時間) 入館料 無料(見学には要予約)
休館日 毎月第3木曜、年末年始、盆休み お問合せ 0569-23-1499
<http://www.nakanoshuzou.jp/sake/>



セントレアから半田市への交通アクセス

- 名鉄電車「中部国際空港」駅から乗車、常滑線「太田川」駅で河和行き又は内海行きに乗り換え、「知多半田」駅下車
- セントレアバスターミナル5番のりば知多半田駅行きバスで「知多半田」駅まで約40分

半田市観光協会

名鉄河和線「知多半田」駅下車、徒歩1分 クラシティ半田3階
営業時間 9:00～18:00 定休日 毎月第4水曜、年末年始
お問合せ 0569-32-3264 <http://www.handa-kankou.com/>